

令和5年5月19日
果樹・茶グループ

シャインマスカットの未開花症の発生状況にかかる 都道府県に対するアンケート調査の結果について

農林水産省では、令和5年4月11日～4月28日までの間、47都道府県に対し、シャインマスカットの未開花症の発生状況についてアンケート調査を実施いたしました。

都道府県の御協力により回答をいただいた結果は以下のとおりです。

アンケート調査結果

1. 都道府県における発生の有無

シャインマスカットの未開花症については、作付されている46都道府県のうち30において、東北から九州まで広く発生が確認されました。

2. 発生の状況

発生していると回答があった30のうち19において品質・収量の低下の発生報告がありました。

回答では、発生した年や地域について一定の傾向がみられず、園地や樹体によって発生のしかたが異なっており、発生に一定の傾向はみられないとの回答が多くを占めました。

3. 発生の要因

発生の要因については、極端な気象要因、着果負担、施肥量、養分の多寡、樹勢など、様々な要因の可能性が報告される一方で、要因に一定の傾向がみられないことなどから、回答のない県も多くみられました。

今後の対応

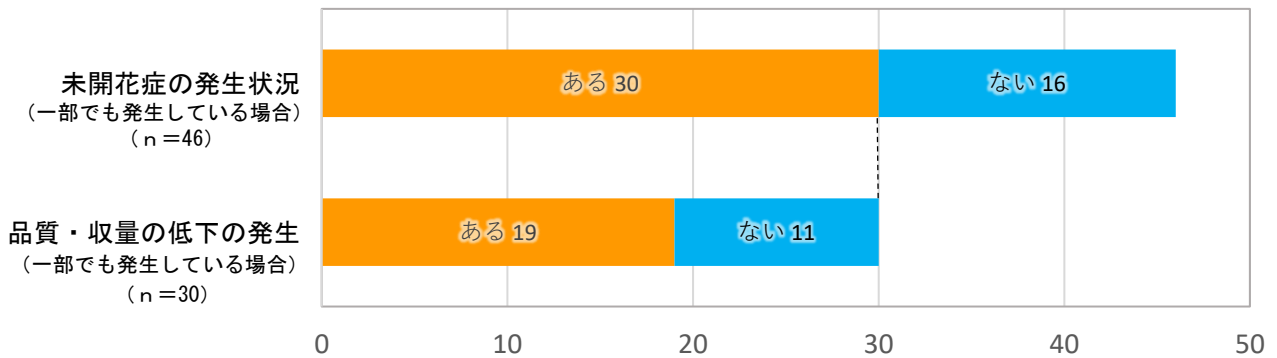
アンケート調査の結果を踏まえ、更なる原因究明及び対策の確立に向けて、「緊急対応課題」により発生実態の調査及び発生園地の状況調査を進めてまいります。

※ シャインマスカットの未開花症及び「令和5年度オープンイノベーション研究・実用化推進事業のうち緊急対応課題」については、以下リンク先を御参照ください。

[令和5年度オープンイノベーション研究・実用化推進事業のうち緊急対応課題の第1回公募について：農林水産技術会議 \(maff.go.jp\)](https://maff.go.jp)

アンケート調査結果の概要

発生状況



未開花症の発生状況や考えられる要因についての情報

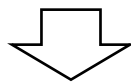
1. 発生の状況 (主な意見)

〔発生の状況に一定の傾向がみられないとするもの〕

- ・同じ地域でも年次、生産者、園地、樹体により発生程度にバラツキがある (28 件)。
- ・一部の園地など局所的な発生が多い (18 件)。
- ・日照の多寡、露地・ハウス、排水性の良悪に関わらず発生している (10 件)。
- ・隣接した園地においても発生の有無がある (2 件)。

〔発生の状況に一定の傾向がみられるとするもの〕

- ・花穂の先端部分での発生が多い (6 件)。
- ・強勢の樹体で多く発生している (4 件) 一方で、弱勢 (3 件)、樹勢良好 (1 件) でも発生がみられる。
- ・短梢剪定で発生がみられる (5 件)。
- ・施肥量が多い園地で発生している傾向がある (4 件)。
- ・着果過多の園地や樹体で多い傾向がある (3 件)。
- ・シャインマスカット以外の品種においても同様の症状が確認されている (5 件)。



- ・発生の状況に一定の傾向がみられないとする意見が多い。
- ・一方で、発生の状況に傾向がみられたとする意見をみると、花穂の先端、強勢の樹体、短梢剪定、施肥量の多い園地、着果過多での発生状況が報告されている。

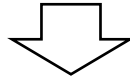
2. 考えられる要因（主な意見）

〔具体的な意見がなかったもの〕

- ・記載はなかった（31件）。
- ・発生事例に一定の傾向がないため、要因が明らかになっていない（3件）。
- ・複数の要因が関与しているのではないかと（2件）。
- ・発生件数が少なく、確かなことはいえない（2件）。

〔具体的な意見があったもの〕

- ・気温（高温・低温）（6件）や湿度（乾燥・多湿）（3件）の影響など気象要因の可能性はある。
- ・着果負担の影響があるのではないかと（4件）。
- ・施肥量（2件）、養分不足や樹勢の強弱（各1件）や関係しているのではないかと。
- ・開花以前の比較的長い期間の影響を受けているのではないかと（2件）。



- ・発生事例に一定の傾向がみられないこともあって、発生要因について具体的な回答のない県が多かった。
- ・一方で、考えられる要因として回答があったものをみると、発生要因として気象要因や着果負担、施肥量、養分不足、樹勢の強弱の影響が報告されている。